【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2006-134306(P2006-134306A)
【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)
【年通号数】公開・登録公報2006-020
【出願番号】特願2005-294182(P2005-294182)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/36　　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　 1/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　３０１Ｅ
Ｇ０６Ｆ　13/36　　３１０Ｚ
Ｈ０４Ｌ　 1/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月5日(2008.8.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
データ処理システムにおいて、入力／出力バスとネットワークとの間で転送されるデータの完全性を保護する方法であって、前記方法が、　前記入力／出力バスから前記ネットワークに転送される第１のデータについて、該入力／出力バスとアダプタとの間のインターフェースにおいて第１の巡回冗長検査値を生成するステップと、　前記ネットワークから前記入力／出力バスに転送される第２のデータについて、該入力／出力バスと前記アダプタとの間のインターフェースにおいて第２の巡回冗長検査値を検査するステップと、を含むことを特徴とする方法。
【請求項２】
前記アダプタと前記ネットワークとの間のインターフェースの前に、前記第１のデータについての前記第１の巡回冗長検査値を検査するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１の巡回冗長検査値を検査した後、前記アダプタと前記ネットワークとの間の前記インターフェースの前に、前記第１のデータについての第３の巡回冗長検査値を生成するステップをさらに含む、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記第１の巡回冗長検査値を生成する前に、前記入力／出力バスと前記アダプタとの間の前記インターフェースにおいて前記第１のデータについての第４の巡回冗長検査値を検査するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記第２の巡回冗長検査値を検査した後に、前記入力／出力バスと前記アダプタとの間の前記インターフェースにおいて前記第２のデータについての第５の巡回冗長検査値を生成するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項６】

前記第１のデータが第１のデータ・パケットからなり、前記第２のデータが第２のデータ・パケットからなる、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記第１の巡回冗長検査値を前記アダプタ上の送信パケット・バッファに格納するステップと、前記第２の巡回冗長検査値を前記アダプタ上の受信パケット・バッファに格納するステップとをさらに含む、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記入力／出力バスが、周辺機器相互接続入力／出力バス・アーキテクチャからなる、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
データ処理システムであって、　入力／出力バスと、　前記入力／出力バスとネットワークとの間でデータを転送するための、該入力／出力バスに接続されたアダプタと、　前記入力／出力バスから前記ネットワークに転送される第１のデータについての第１の巡回冗長検査値を生成するための、該入力／出力バスと前記アダプタとの間におけるインターフェース上の巡回冗長検査生成装置と、　前記ネットワークから前記入力／出力バスに転送される第２のデータについての第２の巡回冗長検査値を検査するための、該入力／出力バスと前記アダプタとの間における前記インターフェース上の巡回冗長検査チェッカと、を備えることを特徴とするシステム。
【請求項１０】
データ処理システムにおいて、入力／出力バスからネットワークに転送されるデータの完全性を保護する方法であって、前記方法が、　前記入力／出力バスから前記ネットワークに転送されるデータについて、該入力／出力バスとアダプタとの間のインターフェースにおいて巡回冗長検査値を生成するステップを含むことを特徴とする方法。
【請求項１１】
前記アダプタと前記ネットワークの間のインターフェースの前に、前記データについての前記巡回冗長検査値を検査するステップをさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
データ処理システムにおいて、ネットワークから入力／出力バスに転送されるデータの完全性を保護する方法であって、前記方法が、　前記ネットワークから前記入力／出力バスに転送されるデータについて、該入力／出力バスとアダプタとの間のインターフェースにおいて巡回冗長検査値を検査するステップを含むことを特徴とする方法。
【請求項１３】
入力／出力バスとネットワークとの間で転送されるデータの完全性を保護するためのコンピュータ・プログラムであって、コンピュータ・システムに、　前記入力／出力バスから前記ネットワークに転送される第１のデータについて、該入力／出力バスとアダプタとの間のインターフェースにおいて第１の巡回冗長検査値を生成するステップと、　前記ネットワークから前記入力／出力バスに転送される第２のデータについて、該入力／出力バスと前記アダプタとの間の前記インターフェースにおいて第２の巡回冗長検査値を検査するステップと、を実行させることを特徴とするコンピュータ・プログラム。